

記入例1 申立人が15歳以上の場合

申立書を提出する裁判所（申立人の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

受付印		名 の 変 更 許 可 申 立 書	
		(この欄に収入印紙800円分を貼ってください。)	
		印 紙	(貼った印紙に押ししないでください。)
収入印紙	円		
予納郵便切手	円		
準口頭		関連事件番号 平成・令和 年(家) 第	号
<input type="radio"/> <input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 令和 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日		申立人 (15歳未満の 場合は法定代 理人 の記名押印)	甲野乙子 (印)
添付書類	(同じ書類は1通で足ります。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 申立人の戸籍謄本(全部事項証明書) <input checked="" type="checkbox"/> 名の変更の理由を証する資料 <input type="checkbox"/>		
申 立 人	本籍	都道 府県 <input type="radio"/> <input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 町 <input type="radio"/> 番地	
	住所	〒 <input type="radio"/> <input type="radio"/> - <input type="radio"/> <input type="radio"/> 電話 <input type="radio"/> (<input type="radio"/> <input type="radio"/>) <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 県 <input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 町 <input type="radio"/> 丁目 <input type="radio"/> 番 <input type="radio"/> 号 <input type="radio"/> アパート <input type="radio"/> 号 (<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 方)	
	フリガナ 氏名	コウ / オツコ 甲野乙子 昭和 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日生 平成 <input type="radio"/> 令和 (<input type="radio"/> <input type="radio"/> 歳)	
	職業 又は 在校名	<input type="radio"/> <input type="radio"/> 高等学校	
※ 法定代理人 (父・母 後見人)	本籍	都道 府県	
	住所	〒 - 電話 () () 方	
	フリガナ 氏名		
	フリガナ 氏名		

戸籍上の名を記入してください。

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、申立人が15歳未満の場合に記入してください。

戸籍上の名

変更したい名

申 立 て の 趣 旨

申立人の名(乙子)を(丙子)と変更することの許可を求める。

申 立 て の 理 由

※

- 1 奇妙な名である。
- 2 むづかしくて正確に読めない。
- 3 同姓同名者がいて不便である。
- 4 異性とまぎらわしい。
- 5 外国人とまぎらわしい。
- 6 平成・令和 年 月 神官・僧侶となった(やめた)。
- 7 通称として永年使用した。
(使用を始めた時期 昭和・平成 ○年 ○月)
- 8 その他 ()

(名の変更を必要とする具体的な事情)

申立人は高校2年の女子です。戸籍上は乙子と
なっていますが、幼稚園の時から通称として「丙子」
の名を使用してきました。現在では、学校、友人や
近所の人々の間では「丙子」として通用しています。
今後の進学や就職のことを考えると、社会生活上、
戸籍名では不便ですので、変更の許可をえたく
申し立てます。

(備 考)

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、8を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

備考欄には、裁判所の手続進行について特に配慮してほしいことがあれば記入してください。

1~7に該当しないときはここに簡単に記入してください。